

編 集 後 記

島根医学34巻2号をお届けいたします。

先ず御投稿戴いた著者の諸先生に心からの感謝の意を表します。日頃の臨床、研究の一端を御披露戴き読者は最近の知見に触れ、刺激を受け、日常診療に益すること誠に大であり、モチベーションが高まります。

折しも異常気象で6月初め頃から熱中症が各地で発生し、いよいよ夏本番を迎えます。従って、生涯教育講座「熱中症」は時節柄極めて時宜を得たものと思われます。熱中症は古くて新しく、学生時代に勉強した知識だけでは充分でなく、特に高齢者、児童・生徒に多発し易く、死亡例もしばしばです。又、学校医、産業医は職場・学校など管理、安全のため適切な指導・助言が望まれています。適切な予防策を講ずれば予防可能なだけに充分御理解の程お願いいたします。同じく生涯教育講座「網膜疾患と黄斑色素の役割」は専門的で内科系実地医家には難解と思われるがたまには他科の知識も必要です。

網膜といえば古くから生理的には研究が進んで居り iPS 細胞の移植もかなり近い将来実現可能と思われます。

臨床研究「腎移植 ('05~'13)」は良好な成績を紹介し、今後の移植医療の拡大発展を示唆している。反面ドナー確保困難の問題点も指摘された。

「血管合併切除を伴う膵癌の治療成績」では全国5年生存率を上回る好成績が報告された。

膵癌はメスが最も届きにくく、治療成績も悪い中、御努力に敬意を表し、更なる発展を期待します。その他の症例報告2題も貴重な経験の積み重ねで、やがては更なる医学の進歩をもたらすこととなります。その意味でも、今後ともどうか奮って貴重な経験、症例、研究など御投稿戴く様お願い致します。

(N. K)

島根医学編集委員

葛尾信弘， 貴谷 光， 秦 公平， 児玉和夫， 森本紀彦，
浅野博雄， 沖田旺治， 齊藤洋司， 佐藤比登美， 井川幹夫，
中山健吾， 徳島 武

島 根 医 学

平成26年6月30日発行

発行者 島 根 県 医 師 会
松江市東奥谷町
編 集 編集者 葛尾信弘
発行所 松江市学園南2丁目3番11号
有限会社 松陽印刷所